

# Beijing Power

for Hyper-Pipa and Live Computer Music

Yoichi Nagashima

---



今回の公開講座チュートリアルで報告するように、私はICMC1999に参加するために、初めて中国・北京を訪問した [<http://nagasm.org/ASL/10-03/>]. この作品は、その活力ある北京での体験にインスパイアされて作曲したものであり、具体的な形として、北京の楽器店で購入した小型の琵琶(本格的なものではなくお土産用)を改造した、新楽器 "Hyper-Pipa" を演奏に使用している。この楽器は、4本の弦のサウンドをピックアップするだけでなく、3次元加速度センサ、ジャイロセンサ、弦振動センサ、タッチスイッチパネル等によって、ライブ音響生成を行うKymaとコントロール用のMAXにMIDI制御情報を与えるインターフェースとして活用する。この即興的演奏を受けて、生成される全ての音響はシーケンサやCD等の固定化をまったく持たないライブ生成アルゴリズムによって生み出される。同時にこの楽器は、多数の発光ダイオードによるセンシング情報表示を行う一種のインスタレーション作品でもある。

